

放課後等デイサービス保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年5月1日

事業所名 こども発達サポートせーの

保護者等数(児童数)36 回収数 17 割合 50%

	チェック項目	評価				ご意見
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	3			活動中見れていないためどちらともいえない。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	2			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	7			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	2			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	1			夏休みのお出かけやイベントを含め大変ありがたいです。 個人セッションや手作りおやつに満足しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	9	2		他がどんな活動をしているのか知らない。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1			どんな時にも子どもに合った支援内容で対応してくれる。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1			いつも細やかにみていただきとても安心して預けさせていただいています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	3			仕事で面談できない時電話での相談助言に感謝しています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		8	7	2	保護者同士で集まる機会がない。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	4			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	5			会報があるといい。 レシピや活動内容のお手紙が嬉しい。
14 個人情報に十分注意しているか	17					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	4			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	11			
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	1			苦手な取り組みは、嫌がる。 子どもの興味・特性に合わせた指導で能力伸び楽しみにしている。
	18 事業所の支援に満足しているか	17				

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年5月1日

事業所名 こども発達サポートせーの

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティション等を使い集中できる環境作りをしています。	安全に活動できるように配慮しています。
	2	職員の配置数は適切である	○			法令に必要とされる配置数に専門的担当を決めて配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			スロープ等を使い段差解消をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティングにて意見交換を行い業務改善につなげています。	月1回の職員会議で業務改善について話し合う機会を設定しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の意見を取り入れ業務改善につなげます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後必要に応じて実施を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月1回の事業所内研修、外部の研修にも参加しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			契約時のアセスメントシートをもとに計画を作成し、計画期限ごとにニーズや課題の把握に努めて作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			主担当が立案、日々の子どもの様子や様子等を考慮し会議にて改善し立てています。集団活動は、一週間ごとに全職員が考案して立てています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動と集団活動を組み合わせることで異年齢の交流ができ、集団活動が苦手でも状況に配慮して1部でも参加できるように計画しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			ミーティングを行い、役割分担の確認、支援終了時に気づいた点があれば話す機会を設けています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日誌にて記録し支援の検証・改善につなげています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを行い見直しをしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			自立支援・創作活動を組み合わせさせて支援しています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者が参画し、ています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者を通じて情報共有し連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療ケアの必要な子どもの受け入れのため必要に応じて連絡体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて情報共有し相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談事業所を仲介し支援内容の情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関と連携し助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		交流できる機会を作っていきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		今後参加していきたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎・連絡ノート・電話・訪問により保護者と共通理解できるように環境を整えています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		今後必要に応じて実施を検討します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行い、モニタリング時に再度確認し理解を得られるように努めます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリング時や連絡ノート、電話での相談に応じ必要な助言・支援が行える
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会等の開催を検討中です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		常にご意見をいただける体制を整え迅速・適切な対応ができるよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お手紙・ホームページ等で発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		契約時に同意書をいただきケース会議等に使用する場合確認をいただくようにしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思疎通方法を保護者と相談しながら行いマカトン・手話行いながら配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		今後地域との交流がもてるようにしていきたいと考えています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		周知できるようにマニュアル提示方法を検討中です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修機会を設定していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			児童・職員の安全のため身体拘束を必要とする場合、保護者の同意・了承を得て計画に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			契約時にアレルギーの有無を確認し指示書がある場合提出してもらい対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			共有し改善に努めています。

児童発達支援保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 こども発達サポートせいの

保護者等数(児童数) 5 回収数 4 割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4				
	2 職員の配置数や専門性は適切である	4				全てを障がいのせいにせず性格か障がいかを判断して下さるのでありがたいです。相談した時にそうした知識を伴う判断や助言に満足しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4				
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4				
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1		3	
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4				
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている			1	3	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4				子どものことをよくみてもらい、的確な助言をしてもらい信頼しています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている				4	
16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	4					

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2	1		1	ホームページをなかなか見れません。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	4				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1	1		2	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1			3	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	3	1			行く時は、ぐずるもののいつも笑顔で帰ってきて「楽しかった。」と話します。
	23	事業所の支援に満足している	4				子どもに合ったやり方で様々な体験ができて満足しています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における  
自己評価結果(公表)

公表:令和2年5月1日

事業所名 こども発達サポートせーの

		チェック項目	はい	いいえ	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令に必要とされる配置数に専門担当を決めて配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		安全で過ごしやすい生活空間の提供を心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務改善につながるようミーティングにて意見交換をし努めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月1回の事業所内研修・外部研修に参加しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画に沿い、主担当が立案し子どもたちの興味のあることを取り入れ、身体的、精神的な成長と生活レベルの向上を踏まえ支援内容の設定を行っています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画に沿った支援を環境、子どもの状況を考えてプログラムを作成、固定化しないようにゲーム的な要素をあわせて行うなど考慮しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			



		チェック項目	はい	いいえ	ご意見を踏まえた対応
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングにて意見交換し児童の状況や様子を共有しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		セッションでの様子は、報告し合い、送迎時に保護者に伝えられるようにし日誌に記載支援の検証・改善につなげています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、報告と計画の見直しの判断をしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画しより良い支援につなげています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	今後連携した支援を行っていきたいと考えています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	今後医療ケアを必要とする児童に連携した支援を行っていきたいと考えています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在連絡体制を整えた支援が必要な児童はいませんが検討していきたいと考えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		1部情報共有できる施設があり、今後必要に応じて検討していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		1部、情報交流を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	今後連携していきたいと考えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	
		30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	今後、必要に応じて行っていきたいと考えています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		モニタリングを行い支援内容の説明等を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		

		チェック項目	はい	いいえ	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談に応じ必要な助言ができるように考えています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	必要ならば考えていきたいと思えます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談に対し迅速に対応できるように努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	定期的な情報発信を検討中です。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約時に同意書をいただき、会議等で使用する場合確認しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思疎通の方法を保護者と相談し、マカトン、手話も取り入れて配慮しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今後、地域に開かれた事業運営をめざしていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	周知できるようにマニュアル提示をいたします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を定期的に行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時、モニタリング時に確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に確認し対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有し事故につながらないように注意しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所内部研修を行い適切な対応を心がけています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		児童、職員の安全確保のため事前に説明・了解を得て計画に記載しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。